

# ひとりから

真宗大谷派青少年センター機関紙『ひとりから』  
発行日/2015年10月1日(年4回発行)  
発行所/真宗大谷派(東本願寺)青少年センター  
〒600-8164 京都市下京区藤訪町通六条下る上柳町199  
TEL: 075-354-3440 FAX: 075-351-9599  
E-mail: oycc@higashihonganji.or.jp  
発行人/青少年センター長 木越 渉



## 今、ここに、ある。

青少年センター研究員 四衛 亮

秋の運動会シーズン。年長さんの「たいちゃん」、日曜日の朝の子ども会の折り、「運動会おわった?」「ときくと、「いいいいいい」「うん、きのうで、おわった」「おわった」と言わず、「きのうで」と言ったというところ、たいちゃんのこころが込められているのです。  
夏休み明けから、毎日毎日運動会の練習。体操・玉入れ・ダンス・リレーなどなど。その長い長い運動会が「きのうで、ようやくおわった」というのがたいちゃんの気持ち。今日は稽古だから、これは練習だから、今はお試し、というのは私たち大人の意識です。だからまあ手を抜いても、この程度でか減します。  
そんなこと一切なく、いつも本番「今、ここに、ある」。  
練習の「今」お試しの「今」なんてないんだぞ。それを何の術もなく教えてもらっている。  
これだから、子ども会はやめられなご。



### 蓮ちゃん通信 その①

## 2015年11月23日(月・祝) 子ども報恩講のつどい

「はじめての報恩講—東本願寺で子ども会—」

- 会場/東本願寺(御影堂、同朋会館)
- お話し/藤原正寿氏(大谷大学准教授)
- 参加対象/12歳までのお子様、保護者・引率者
- 参加費/500円(精進カレーのお齋、記念品つき)
- 申込締切/11月13日◎  
※ただし、定員(200名)になり次第締め切らせていただきます。
- 申込方法/青少年センターまで直接お申込ください。
- ※詳しくは、『真宗』9月号・10月号をご覧ください。



# 報恩講

ほう おん こう

大谷大学特別任用教授

延塚 知道 のぶつち ともみち



昨年の11月23日、「子ども報恩講のつどい」に初めて参加させて頂きました。幼児から6年生まで200人が参加してくれました。まず、御影堂で『正信偈』の勤行から始まりましたが、調声は4年生の女の子で、みんなちゃんと正座して大きな声で勤行し、素直に手を合わせて南無阿弥陀仏を称えていました。みんな興味津々なのか、輝くような顔とキラキラした眼で念仏を称える姿に、胸が熱くなりました。その時にお話ししたことを少しだけ再現してみましよう。

親鸞聖人の前にお座りして、みんな『正信偈』上手やったね。合掌して、大きな声で南無阿弥陀仏を称えて、偉かったねえ。それだけで最高や。120点満点、花丸や。ジイジは涙が出るほど感動したわ。今日は、それだけで充分や。ジイジからは何も言うことない、みんなの話の方を聞かせてよ。

「分かん、仏さまの名前やろ」  
「南無阿弥陀仏って何のことなん？」  
「神様の名前やわ」

「アホか、ここは東本願寺やぞ、神様じゃない、仏さまの名前やろーが。」  
「なんで、神様いうたらあかんのや〜へえだ〜」(大笑い)  
みんな、仏さまって何やと思う。真面目に答えてよ。

「アホか、神様ちがうわ、仏さまってお釈迦様のことや」  
「仏さまって、一番大切なもんや」  
「がやガヤ、がやガヤ」  
ともかくみんな、元気がいいなあ。いつべんに喋るな、一人ひとり喋れよ！

ところで一番大切なモノいうたら、みんなに何なつて何なの？  
「いのち〜」「いのち〜」(全員で大声)  
へえ、それはみんな同じ答えなんや。みんな同じなんてめずらしいな。なんでいのちなの？

「だつて、いのちなくなったら死ぬやんか」  
「そつや、いのちが一番大切に、きまつてるヤン」  
死んだらアカンか？生まれてきてよかったか？  
「うん、生まれてきてよかった

## 子どもたちと聞く法話



「きまつてるヤロ〜」  
「えら死んだらアカンわ。痛いヤンか」  
そつか。みんながそつ言つんやつたら、ジイジ嬉しいわ。今日来てよかった。ジイジの方が、みんなから元気もらってるわ。みんなすごいな、偉いな。とこでいのちって何や？



「心のなかにあるヤン」  
「僕の胸の奥のほうにある」  
「頭のなか」  
「心臓にある」  
「鼻のなかや〜」  
「がやガヤ、がやガヤ」  
そつか鼻の中か、息してるもんナア。君すごいな。ほんならみんな、そのいのち、ジイジに見せてよ。見せてほしいな。

「はあ〜、ムリや」  
「そんなムリやわ〜」  
ジイジ、アホちがつか、そんなムリにきまつてるやろ〜  
「ムリ〜」(全員が無理と答える)  
そつか無理か。そやけど、みんなの一番大切なモノを見せられへんって、おかしくな〜。

「がやガヤ、がやガヤ」  
そやから、仏さまが南無阿弥陀仏といふ名前を覚えてくれてると違つかな〜。  
「へえ、ほんなら南無阿弥陀仏って、いのちのことなん？」  
「へえ、いのちのことなんや〜」(全員ちょっと静かになる)

そつや、いのちって一番大切やけど、みんな見せられへんやろ〜。いのちのことなんかいつも忘れてて、思われへんやろ〜。だから忘れへんように、仏さまが教えてくれると違つかな〜。

「何で、いのちを忘れたらアカンの？」  
「それはなあ、時々いのちに逆らったと、してへんか？友達とけんかしたりとか、自分で自分をいじめたりとか、偉そうにして調子にのったりとかね、どう？」  
そんな時には、南無阿弥陀仏に「ムンね」ってあやまらなアカンな。反対に、みんなはさつき生まれてきてよかったとか、お父さんとお母さんにかわいがられて嬉しいって言ってたやろ。そんな時には、南無阿弥陀仏に「ありがと〜」ってお礼を言わなアカンな。いつも逆らってばかりいるけど、いのちは何も文句を言わずに支えてくれると思わへんか。そやから、「ムンね、いつもありがと〜」って、南無阿弥陀仏を称えんとアカンのや。そのために南無阿弥陀仏の本当のいのちを、仏さまが教えてくれると違つかな〜。

「こんやとりで、本当に楽しいひとときでした。お話が終わって座っている私に、幼稚園の男の子が「先生、今お話してくれたことは、『今、いのちがあなたを生きている』とどういってやろ〜」って言うわ、私の方がびっくりしました。子どもたちに合掌いっほ。

# 初参り式

生まれた意義と生きる喜びを見つけよう!



ここでは、実際に寺院で行われた**実施例**と**ワンポイントアドバイス**を紹介します。

赤ちゃんがグズってしまうこともあるので、あまり長くないものを作られるとよいでしょう。

誕生児念珠は、無償にて授与しています。(詳細は下記参照)

## 実施例

- 真宗宗歌斉唱
- 調声人焼香
- 表白
- 嘆仏偈
- 短念仏
- 回向
- 誕生児念珠授与
- 親子焼香 ←
- 法話 ←
- 恩徳讃斉唱



誕生児親子の焼香です。念珠授与・焼香の間には、BGMを流すと雰囲気が出ます。

参考資料のような紙芝居を用いた法話もよいでしょう。

親鸞聖人御誕生八百年を迎えるにあたり、「門徒誕生児初参り式次第」(『真宗』1969年3月号掲載)が下記のとおり制定されています。詳しくは『大谷派寺院年中諸法要行事』(法蔵館)にも掲載されていますので、参考にしてください。

## 次第

- 開式のことば
- 讃歌
- 総礼
- 三帰依文
- 念珠授与
- 焼香
- お祝いのことば
- よろこびのことば
- 法話又は講演
- 讃歌
- 総礼
- 閉式のことば

参考

## 紙芝居「うまれたひ〈生まれた日〉」

作・ともしえ 国書刊行会



お釈迦様誕生の物語を題材にした作品です。切り絵に色彩を施した絵も綺麗で、子どもだけではなく大人も一緒に楽しめる内容です。

お求め・お問合せは… [国書刊行会](#)

[検索](#)

## 誕生児念珠授与のご案内

誕生児念珠を無償で授与しています。授与に際しては、申請が必要です。詳しくは、最寄りの教務所へお問合せください。

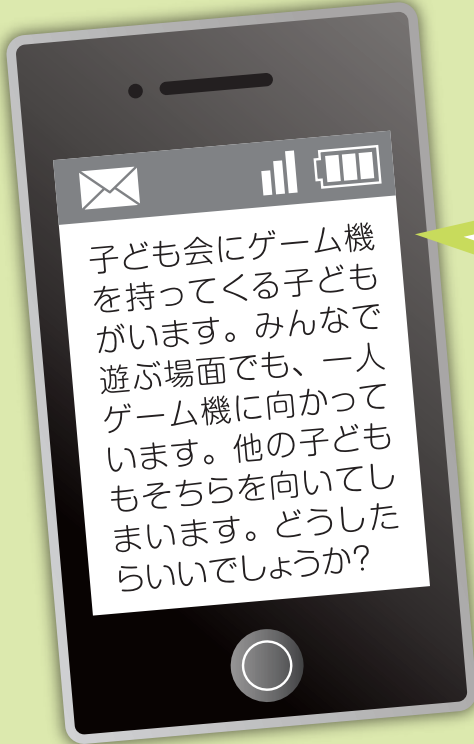


「ご家族のみなさまへ」のメッセージを記載したしおりと「遠慶宿縁」の文字がプリントされた台紙付

Re:

# サガエさんおしえて

子ども会での悩みや困りごとをサガエさんにお尋ねするコーナーです。



子ども会にゲーム機を持ってくる子どもがいます。みんなで遊ぶ場面でも、一人ゲーム機に向かっていています。他の子どももそちらを向いてしまいます。どうしたらいいのでしょうか？

さがえ なつみ  
**佐賀枝 夏文**

1948年生まれ。大谷大学名誉教授。児童福祉施設等での児童指導員、心理判定員を経て、現在は高倉幼稚園長で青少年センター研究員。カウンセラーネーム「サガエさん」です。



## 「遊び」は「工夫」と「発見」の産物

子どもたちを取り巻く環境が「居ながらにして楽しむことができる」ことへ傾斜しています。テレビの前に座れば、ドラマやアニメが放映されています。ゲーム機を手に入れば、たちどころにゲームの世界が展開します。さまざまな精巧なおもちゃが販売され、容易に手にすることができます。

本来、「遊び」は空き箱や木片などを何かに見立てて、自由に解放された「無為」な世界が展開するものです。ゲーム機遊びは正確でスピードが要求され、「工夫」と「発見」が入り込む余地はありません。「いま」はますます、めんどろでやっかいなことを遠ざける風潮があります。

お寺の子ども会では、大切なことを子どもたちに伝えたいという願いがあります。正信偈をみんなで唱和すること、遊びを通して友だちと出会うこと、ガッコウではない居場所づくりなどが願われます。ゲーム機遊びはお寺の子ども会とは目的が違いますから、なじまないといえます。次回の連絡のときに、「お寺の子ども会に集う意味は、仲間と遊ぶことや、その中で体験することが目的ですから」ということを話しましょう。そして「だから、お寺の子ども会へはゲーム機は持ってこないでね」と責めるのではなく、お願いと約束をしてはいかががでしょう。

また、持参したら「だめだよね」と逃げ道をつくって諭してはいかががでしょう。

## 子ども会の悩みや困りごとをお寄せください！

これから子ども会をはじめようとする方や、すでに開かれている方のご質問に「Re:サガエさん教えて」のコーナーにてお答えします。

宛先は…[oyc@higashihonganji.or.jp](mailto:oyc@higashihonganji.or.jp)

### 蓮ちゃん通信 その②

## 子ども会情報募集中!

“お寺につどう子どもたち”の写真や動画など子ども会の内容をお寄せください。巻頭写真に採用された方には、東本願寺キャラクターグッズをプレゼントします!

宛先は、「郵送」または「E-mail」  
[oyc@higashihonganji.or.jp](mailto:oyc@higashihonganji.or.jp)  
「『ひとりから』子ども会情報係」まで



◎季節ごとの子ども会もハードルが高い...という方も少なくないと思います。イベントレシビで紹介した「初参り式」から始めてみてはいかがでしょうか?いのちの誕生から人生を通して、阿弥陀さまが見守っておられるということを、世代を超えて感じてもらえる機会にしたいと思います。(編集長)

◎昨年の「子ども報恩講のつどい」での延塚知道先生のご法話が今回、活字になりました。「このこと一つを伝えたい」と子どもたちに分け入りながらお話されていた姿が印象的でした。今年のチラシ作成の際、写真をデザイナーさんを選んでいただいたのですが、ご法話を聞く子どもたちの表情が一番魅力的だったそうです。仏法が人を通して伝わるその瞬間がそこにあつたような気がします。一御正念に子らの眼差し澄みにけり(青七主幹)

編集後記

